

令和7年度 枚方市地域包括支援センター保健師部会

1. 保健師部会の開催（毎月定例開催）

開催日時	議 案 内 容	出席状況
4月15日(火) 9時30分～	1. 健康づくり課から報告 ①今年度の担当について ②一体的実施について 2. 医療介護研修チームから報告 介護予防ケアマネジメント研修日程（6/18）と内容、各居宅への送付について 3. 介護予防普及啓発チームから報告 ①総合フローチャートの追記修正 ②ハイリスクアプローチのチェックツール作成 ③介護予防の普及啓発資料について 4. 認知症施策検討チームから報告 今年度の方針について 5. 情報共有等 令和7年度末までで第1圏域社協こもれび圏域担当終了	・センター職員14名 ・健康づくり課職員6名
開催日時	議 案 内 容	出席状況
5月20日(火) 9時30分～	1. 健康づくり課から報告 ①一体的実施の健康状態不明者一覧について ②口腔フレイルハイリスク者へのアプローチについて ③大塚製薬熱中症予防チラシ 2. 医療介護研修チームから報告 ①介護予防研修研修案内の申し込み締め切り（6/4）と事前資料配布（6/10） ②研修当日グループワークについて ③マニュアルの配布は実施せず、新規へは都度配布 3. 介護予防普及啓発チームから報告 ①総合事業フローチャートの変更点（ご近所運動教室） ②ハイリスクアプローチチェックツール 4. 認知症施策検討チームから報告 ①チームオレンジ交流会について ②認知症初期集中支援チームより医師との意見交換会について ③のうKNOW（12/9-13）について 5. 情報共有等 ①感染症対策委員会について（各圏域の取り組み） ②120日チャレンジについて ③行政施設予約について ④介護予防プランについて	・センター職員14名 ・健康づくり課職員4名

開催日時	議 案 内 容	出席状況
6月17日(火) 9時30分～	1. 健康づくり課から報告 特になし 2. 医療介護研修チームから報告 ①11/20アセスメント研修内容について 3. 介護予防普及啓発チームから報告 ①総合事業フローチャート見直しについて 4. 認知症施策検討チームから報告 ①ステップアップ講座について ②認知症カフェとチームオレンジサポーターとの交流会について ③キャラバンメイトについて 5. 情報共有等 ①デイサービス運動機能向上加算廃止について ②6/13オレンジ初期集中支援チーム意見交換会の報告	・センター職員12名 ・健康づくり課職員7名
開催日時	議 案 内 容	出席状況
7月15日(火) 9時30分～	1. 健康づくり課から報告 ①教室型通所事業書類簡素化について（介護予防教室連絡会の報告） ②介護予防教室連絡会の報告 2. 医療介護研修チームから報告 ①11/20アセスメント研修について（スケジュール・講座内容） 3. 介護予防普及啓発チームから報告 ①介護予防フローチャートについて 4. 認知症施策検討チームから報告 ①認知症カフェとサポーター合同交流会について ②人超キャラバンメイト養成講座について ③「発動依頼票」書式変更について 5. 情報共有等 ①フレイル予防リーフレットについて ②ハイリスク訪問について	・センター職員14名 ・健康づくり課職員5名

開催日時	議 案 内 容	出席状況
8月19日(火) 9時30分～	1. 健康づくり課から報告 ①8/22骨粗しょう症教室時に各包括より案内資料等配布希望について ②ポピュレーション企画書記載について ③KDBデーターについて ④保健所よりマスク配布について 2. 医療介護研修チームから報告 ①11/20アセスメント研修について（講座内容決定） 3. 介護予防普及啓発チームから報告 ①介護予防フローチャート修正終了 4. 認知症施策検討チームから報告 ①オレンジカフェチラシについて ②SOSネットワーク事業と見守り110番について ③関西記念病院認知症カフェについて ④7/27イズミヤ子供向け認知症サポート講座報告 ⑤認知症サポーターとボランティアの合同交流会について ⑥初期集中支援チーム：活動依頼書変更について 5. 情報共有等 ①指定介護予防支援 業務マニュアルについて	・センター職員11名 ・健康づくり課職員5名
開催日時	議 案 内 容	出席状況
9月16日(火) 9時30分～	1. 健康づくり課から報告 ①10/9教室型事業所との連絡会での意見交換内容について 2. 医療介護研修チームから報告 ①11/20アセスメント研修について ・講師：歯科医師（高橋医師）と本日、打ち合わせ ・居宅事業所研修案内発送について 3. 介護予防普及啓発チームから報告 ①今後のチーム活動内容について 4. 認知症施策検討チームから報告 ①認知症カフェとオレンジサポーターとの交流会について ②オレンジカフェについて ・医療機関での認知症カフェ開催について 5. 情報共有等 ①指定介護予防支援 業務マニュアルについて	・センター職員13名 ・健康づくり課職員5名

開催日時	議 案 内 容	出席状況
10月21日(火) 9時30分～	1. 健康づくり課から報告 ①介護予防教室連絡会の報告 ②令和7年度一体的実施について ・ハイリスク・ポピュレーションアプローチ ③健活フェスタについて ・サテライト会場の依頼 2. 医療介護研修チームから報告 ①11/20アセスメント研修について ・10/1付で案内状郵送 3. 介護予防普及啓発チームから報告 ①フローチャート（利用者用）作成検討 ②講師一覧の見直し 4. 認知症施策検討チームから報告 ①R7/2/6：総合文化センターイベントについて 5. 情報共有等 ①認知症支援体制について	・センター職員14名 ・健康づくり課職員7名
開催日時	議 案 内 容	出席状況
11月18日(火) 9時30分～	1. 健康づくり課から報告 ①KOBデーターについて 2. 医療介護研修チームから報告 ①11/20アセスメント研修について（当日の流れ・役割分担について） 3. 介護予防普及啓発チームから報告 ①講師一覧反映されていない事業所について確認中 4. 認知症施策検討チームから報告 ①認知症イベントについて（R7/2/6） ・認知症啓発や市民交流イベント 5. 情報共有等 ①KDBデーター各包括圏域データー配布について	・センター職員14名 ・健康づくり課職員4名

開催日時	議 案 内 容	出席状況
12月16日(火) 9時30分～	1. 健康づくり課から報告 ①令和7年度教室型通所事業について ②一体的実施について ③KDBデータの読み解き方 ④リハ職アセスメント事業とリハ職行為評価事業について 2. 医療介護研修チームから報告 ①11/20(水)研修アンケート集計・業務マニュアル配布 3. 介護予防普及啓発チームから報告 ①講師一覧表のまとめ 4. 認知症施策検討チームから報告 ①R7/2/6:オレンジチーム交流会について ②初期集中支援チーム：発動件数報告 ③のうKNOWの個別発送について 5. 情報共有等 ①高齢者健康づくりプロジェクトについて	・センター職員17名 ・健康づくり課職員7名
開催日時	議 案 内 容	出席状況
1月20日(火) 9時30分～	1. 健康づくり課から報告 ①のうKNOWについて ②R7保健師部会 開催日程について ③R6 高齢者健康づくりプロジェクトの申込状況報告 ④自立支援型地域ケア会議で抽出した地域課題について 2. 医療介護研修チームから報告 ①今年度の研修の振り返り 3. 介護予防普及啓発チームから報告 報告事項なし 4. 認知症施策検討チームから報告 ①2/6：チームオレンジ交流会について 5. 情報共有等 特になし	・センター職員16名 ・健康づくり課職員6名

開催日時	議 案 内 容	出席状況
2月17日(火) 9時30分～	1. 健康づくり課から報告 ①ひらかた元氣くらわんか体操・ひらかた夢かなえるエクササイズ交流会について ②教室型通所事業について（R7年4月～） 2. 医療介護研修チームから報告 ①研修でのファシリテーター意見交換 3. 介護予防普及啓発チームから報告 ①今年度の総合事業フローチャート・講師一覧見直し終了 4. 認知症施策検討チームから報告 ①2/6：オレンジレセプション報告 ②3/4～3/8のうKNOW集団検診について 5. 情報共有等 ①次年度チーム編成・事業計画について ②長期プランについて	・センター職員17名 ・健康づくり課職員6名
開催日時	議 案 内 容	出席状況
3月17日(火) 9時30分～	1. 健康づくり課から報告 ①教室型通所事業の利用申し込み書改訂の件について ②ご近所運動教室について ③R7年度の一体的実実施について ・ハイリスクアプローチ ・ポピュレーション ・口腔フレイル ④一体的実施業務委託料請求書に関して 2. 医療介護研修チームから報告 ①次年度の研修予定について 3. 介護予防普及啓発チームから報告 ①講師一覧の随時更新 ②総合事業フローチャート・介護予防パワーポイントの見直し 4. 認知症施策検討チームから報告 ①R7年度地域支援推進委員について 5. 情報共有等 ①R7年度事業実施計画書について ②介護予防カレンダーについて ③ポピュレーションについて	・センター職員17名 ・健康づくり課職員4名

2、保健師部会の活動

① 医療介護研修チーム

○介護予防ケアマネジメント研修

「介護予防ケアマネジメント研修 基礎研修（初任者向け）～介護予防プランの考え方～」

第1回目令和7年6月18日（水）14：00～16：00 参加者 41 名

自立支援の考え方の理解と、適切にサービス提供できるように研修参加者のアセスメント力向上を目指し実施。

「介護予防ケアマネジメント研修～本人の自助力を引き出す視点 自立を促す提案力～」

第2回目令和7年12月17日（水）14：00-16：00 参加者 29 名 全ケアマネジャー対象
実際の事例を用いて、総合課題と目標設定について講義とグループワーク実施。

事例として82歳腓骨骨折の男性を想定し現在の身体状況や生活環境など情報提供。

何が課題か何を目標に自立に導くかを考えてもらいました。

研修後のアンケートには、自立支援と言葉ではよく使うが、その意味がやっと理解できたなどの感想が多くありました。

ただ、考え方は理解できたが、プランの具体的な記載の仕方など初任者・経験者とも難しさを感じているとい意見もあり、今年度の研修内容に反映させ基礎的な内容について実施予定。

② 介護予防普及啓発チーム

○講師一覧の修正

各包括が実施している事業や出前講座の際に、依頼できる講師の情報を共有することにより、講座の内容の幅が広がり、多彩な方面から支援できる。

○ハイリスクアプローチ訪問ツール作成

ハイリスクアプローチ訪問時に活用するチェックツールを作成し、全包括で共有。

訪問者による観察点のばらつきを軽減し、一定の視点を保ったアプローチを実施できるように取り組みました。

③保険事業と介護予防の一体的実施事業及び高齢者元気はつらつ事業

○ポピュレーションアプローチや元気はつらつ事業では、各圏域の特性を踏まえたうえで、フレイル予防に資する内容の講座を企画・実施し、広く住民にフレイル予防の考え方を周知啓発するとともに、普段の生活にも留意できるようにしている。

○ハイリスクアプローチは、医療にも介護にも関わりのない住民を拾い上げ、電話・案内の郵送・訪問のいずれかにて状況を把握し、必要に応じて健康診断の受診勧奨や関係機関、サービスにつないでいる。

1. 総合的な方針

ニーズ・課題（前年度）

① 医療介護研修チーム

令和7年度は研修を2回実施し、研修内容については概ね理解が得られている。一方で、実施後アンケートにおいて、経験年数問わず基礎的な介護予防プランの作成方法に関する研修ニーズが高く、介護予防サービス・支援計画書における具体的な記載方法や目標設定について、難しさを感じている意見が多くあった。

このことから、どのような研修を行えば、介護予防ケアマネジメントの基礎的な内容についてより深く理解でき、実務への反映が可能となるのかが課題である。

② 介護予防普及啓発チーム

- (1) KDB データについては、地域で効果的な健康講座等実施していくための具体的な活用方法等について検討していく必要がある。
- (2) 介護予防に関する講座の講師一覧表を随時更新することについては、必要に応じて実施できた。今後も最新情報を共有できるよう、随時、修正・更新を行う必要がある。
- (3) 介護予防に関する周知・啓発、行動変容につながるようポピュレーションアプローチ実践力向上に努める必要がある。
- (4) 認知症の相談や、医師から紹介ケースも増えており、MCI や認知症等の予防に関する普及啓発の必要がある。

取組方針・目標

① 医療介護研修チーム

経験年数に関わらず、介護予防ケアマネジメントの基礎的な内容について理解を深めることを目的に、研修を実施する。

② 介護予防普及啓発チーム

- (1) 地域の課題を共有・発信を効果的に実施するため、KDB データを活用した具体的な手法を検討する。
- (2) 講師一覧表の修正、更新を行う
- (3) ポピュレーションアプローチの実践力向上を図る。
- (4) MCI や認知症についての知識や予防に関する普及啓発活動を検討する

2. 取り組み内容別の方針

チー ム 名	医療介護研修チーム
チー ム 構 成 員	はなまる（亀山・窪田）、社協ふれあい（山内）、聖徳園（津田）、サール・ナート（吉田）、アイリス（★丹）、東香会（中嶋） ★はリーダー
取 組 内 容	経験年数を問わず居宅介護支援専門員を対象に、マニュアルに則った介護予防サービス・支援計画書作成の基礎的な考え方の研修を行う。研修の開催方法は、より多くの居宅介護支援専門員に学ぶ機会が提供できるよう検討する。

チー ム 名	介護予防普及啓発チーム
チー ム 構 成 員	★松徳会（岩田）、美郷会（生嘉）、みどり（藤田）、安心苑（信貴野）（大潤会）今井、高齢協（高田）、パナソニックエイジフリー（坂本）
取 組 内 容	(1) ・ KDB データの読み方・分析方法等を学ぶ機会を設け、分析の視点を共有する。 ・ KDB データと日頃の地域活動・住民の声を結び付け、課題を整理する。 ・ フレイル予防などの重点テーマについて、KDB データを活用した説明資料を作成する。 ・ 地域住民に対し、わかりやすい形で現状や課題を伝える方法を検討・実践する。 (2) ・ 講師一覧表について、随時修正・追加していく。 (3) ・ 高齢者への周知や行動変容につながる手法について検討する。 ・ ポピュレーションアプローチの実践事例を共有し、取組の振り返り・改善につなげる。 ・ 講座で活用できるチラシやパワーポイントの整理。 (4) ・ MCI・認知症について広報方法（チラシ等）や講義内容の整理などを行い地域住人へ周知する。